

2006. 9. 17(日) 12:00~

第32回

エイサー祭り



大正区千島公園グランド

先達の供養歌——ニンブチヤー

七月たなばた 酒たぼり

御万ぬニンブチヤしよ 未たぼり

十三になたぐとう 親はなり

やまとうんかい職しき ちやしひたむ

二十歳になたぐとう 親思てい  
職しきいつペー うみはまたん

やしが我んね 島とうめらむ

二才達エイサー 賴まびいら

七月が来た たなばたが来たぞ  
酒も供物も用意して下さい  
供養しましよう  
御願をいたしましょう

十三歳になつて 一人前の扱いをされて  
早くに親から引き離され  
日本に仕事を求めてやってきました

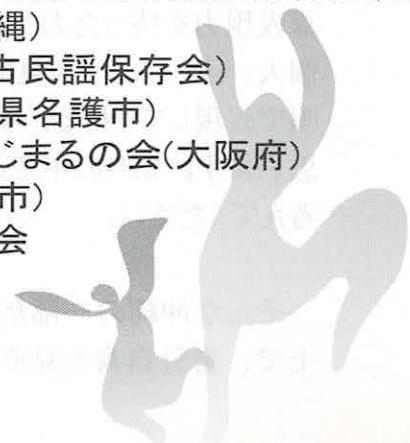
仕事もがんばつて 年ごろになり  
親のことを思うと 早くお金をためて  
島へ帰りたいと 心はさわぐ

だけど 月日は流れ 年も寄つてくる  
もう島には帰れそうもない  
もうそんな年になつてしまつたよ

若い衆よ  
あんた達のエイサーが唯一の楽しみだ  
頼んだぞ

# 2006 第32回エイサー祭り プログラム

1 開会の挨拶	司会
2 開会式	参加団体全員
3 実行委員長挨拶	中村 和文
4 大正区長挨拶	西村 東一
5 琉球舞踊(安里屋コタ花)	大正区小林小学校生涯学習ルーム
6 親子エイサー	西成でいごの会(西成区)
7 親子エイサー	大正子どもエイサー団(大正沖縄子供会)
8 沖縄空手	名嘉空手道場(大正区)
9 三線ライブ	天川天秀(尼崎)
10 三線ライブ	大城敏信(沖縄)
11 三線ライブ	新垣優子(沖縄)
12 清ら祭りでーびる	みんなでお掃除ー清ら・ちゅら・たいむ
13 親子エイサー	琉響伝(大阪市港区)
14 締太鼓エイサー	沖縄かりゆし会(大阪府大東市)
15 パーランクーエイサー	平敷屋エイサーたもつ会(奈良県)
16 締太鼓エイサー	愛知琉球エイサー太鼓連(愛知県豊田市)
17 三線ライブ	大正区子ども会(大正区)
18 三線ライブ	関西沖縄文庫三線会
19 ギターライブ	知念良吉(沖縄)
20 清ら祭りでーびる	みんなでお掃除ー清ら・ちゅら・たいむ
21 締太鼓エイサー	東京沖縄県人会青年部(東京都)
22 締太鼓エイサー	京都琉球ゆう遊会(京都府)
23 クイチャー	踊うてい遊ばな
24 三線ライブ	栄 篤志(奄美)
25 三線ライブ	アキサ・ミーヨース<大城孝夫(八重山)諸見里宗博(沖縄)>
26 ポップスライブ	ジョニー宜野湾(沖縄)
27 締太鼓エイサー	みやくエイサー(宮古民謡保存会)
28 締太鼓エイサー	名桜エイサー(沖縄県名護市)
29 締太鼓エイサー	関西沖縄の集いがじまるの会(大阪府)
30 仲順流れ	レキオ(兵庫県宝塚市)
31 唐船ドーイ	関西沖縄文庫三線会
32 カチャーシー	各エイサー団体
33 閉会の挨拶	各エイサー団体
	踊うてい遊ばな
	主催者代表



## ごあいさつ

本日は、第32回エイサー祭に御来場、御協力頂き誠にありがとうございます。祭運営に携わるスタッフを代表して御礼申上げます。

昨年は、『祈り』をテーマに祭を創ろうとしましたが、大変重たいテーマで、思考の迷路に入り込んでしまい、思ったような表現が出来ずに消化不良になりました。今年は、会場の造り方も昨年とはガラリと変えて、一体感のある祭りを目指す事にしました。スタンドで、高みの見物を決め込むよりも、降りてきてもっと近くで体感する、同じグランドで、老いも若きも、エイサーを見て、沖縄音楽を聴いて、一緒に楽しめるように考えたつもりです。まだまだ、広いグランドを持て余している所もあるのですが、年々勉強だと思い、どの様にした方が良いのか試して行こうと思います。ご理解のほど宜しく御願いいたします。

また、中身については、昨年のパンフレットのあいさつ文で書いていた『違い』をテーマに、無理の無い表現を行ってみたいと思います。

あなたは、どんな沖縄を知っていますか、

「美しい沖縄」・「醜い沖縄」・「明るい沖縄」・「暗い沖縄」・「楽しい沖縄」・  
「悲しい沖縄」・「優しい沖縄」・「怖い沖縄」・「温かい沖縄」・「冷たい沖  
縄」・「大きな沖縄」・「小さな沖縄」・「古い沖縄」・「新しい沖縄」等など、

例え出したらキリが無い位、沖縄を表現する形容詞は多くあります。それだけ沖縄と言う土地は、歴史の中で、様々な顔を持つ土地で、そこに住む人たちも多種多様な表現力を持った人たちが多い様に感じます。この祭りの中でも、各団体その中の個人一人一人、よく見ていると面白い違いが見えてくると思います。また、舞台上で、唄で表現してくれる、唄い手の皆さんもそれぞれの表現の違いが、よく見えてくると思いません。祭りの中で沖縄を大きく感じ、細かな目配り気配りで違いを感じ、少し考えてください。

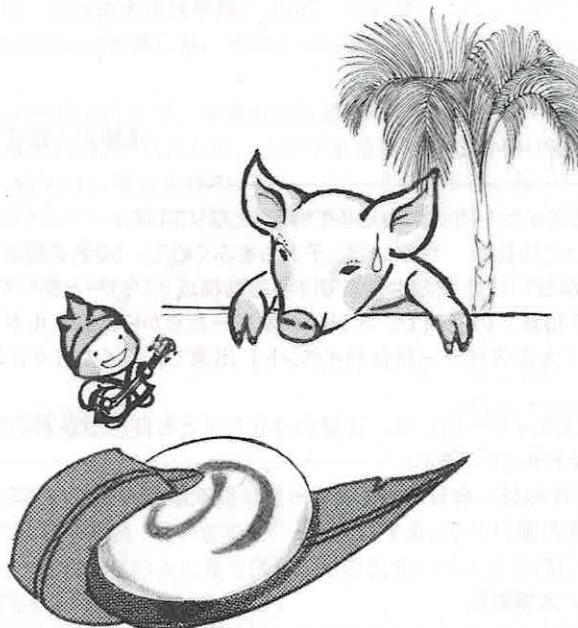
そんな沖縄の一部だけを切り取らず、全体を見て感じてください。それを感じた上で、自分自身を見直してください。そんな中に何かが見えてくるかもしれません。

今年のエイサー祭には、新に参加して頂く団体が、2団体あります。一つは最初に登場する『大正区小林小学校生涯学習ルーム』の皆さんです。地元 大正区の御婦人たちが、沖縄舞踊を生涯教育に取り入れ、中村 寿美子 先生から習っています。

もう一つは、後半に登場する、愛知県から参加する『みやくエイサー』の皆さんです。エイサーの無い宮古島出身の青年たちが中心になり、それを宮古民謡保存会の皆さんのがバックアップをして、愛知県を中心に活躍している団体です。

この新たな風により、またいろいろな違いが見えて来ると思います。この祭りを創っていく人、参加する人の中にも、いろいろな人がいます。この祭りは、そんな一人一人の思いが折り重なって出来ているお祭りです。いろいろな思いの表現を、感じてあなたも祭りを創っていく一人になって下さい。

関西沖縄の集い がじまるの会 会長代理 中村和文



エイサー

## 大正区小林小学校生涯学習ルーム

5年ほど前に、大阪市立小林小学校を使う、大正区の生涯教育の中で、沖縄舞踊に取り組むことになり、地元 大正区小林に住む、中村寿美子先生を迎えて、毎月2日の練習日で地域のママさんが集まり、活動を始めました。大正区の沖縄県人会の催しや、盆踊り大会などで、練習の成果を披露しています。毎月第2・4金曜日の夜7時～9時の2時間、小林小学校の生涯学習ルームで練習しています。今は32名ほどで練習しています。興味があれば覗きに来てください。一緒に沖縄の踊りを楽しみましょう。

## 西成でいごの会

連絡先／玉城 06-6659-1662  
メール／chura\_tmk@helen.ocn.ne.jp

西成でいごの会は、西成区 南地域を中心に活動を始めて、今年で9年目になります。古くから守り受け継がれたエイサー踊りを通して、沖縄の歴史や文化を学ぶきっかけとしてエイサーを踊っています。今日、元気に踊れる楽しさを、体いっぱい表現します。今や大正区の伝統となりました「大正区エイサーまつり」に出場できるということは、楽しみの一つになっています。多勢で踊るエイサーも迫力があって見事ですが、4歳の可愛い子から高校生までの、子どもばかりで元気よく飛びはねるエイサーも、又かわいくて涙がでます。踊る子どもたちの可愛い元気!をあなたに!小さい体が、締太鼓や大太鼓に振り回されない様に、頑張って踊ります。  
どうかやさしく温かい、ご声援をよろしくお願ひいたします。

代表者／玉城 清次

## 大正沖縄子どもエイサー団

連絡先／金城 06-6552-8313

2002年に「大正沖縄子どもエイサー団」が復活して5年目となりました。再発足当初は、20数名だった団員が、今では親と子どもをふくめて、50名を超える隊列が組めるようになりました。年齢層は、5歳の幼児から30代の親の世代まで、多彩な構成メンバーとなっています。今年は、救護施設「今池平和寮」の訪問で、オジーやオバーたちから、エネルギーの源泉を分けてもらいました。また、京セラドームでの「大正区民デー試合前イベント」出演で、多くの方々にエイサーを披露する度胸も得られました。わたしたち「大正沖縄子どもエイサー団」は、沖縄の文化に子ども自身がふれることで、沖縄を自分の思いで楽しく表現していけたらいいなと思っています。まだまだ踊りはうまくありませんが、今日の「エイサー祭り」で元気いっぱいのエイサーが披露できるように練習してきましたので、ご声援をお願いいたします。

代表者／金城 宗和 地謡／大城敏信

**琉響伝(琉球エイサー太鼓)**

連絡先／安慶名 06-6577-8285

ふる里、沖縄の響きを伝えたいと、オリジナルの振り付けでグループ結成10年目になります。代表こだわりの手作りの太鼓や三線、獅子と子供達が興味を持ってくれる事が、何よりうれしく思います。

幼児から小・中・高校生と親子で一緒に協力活動しています。少しでもみなさんの心に響く様、一生懸命演舞しますので、応援よろしくお願ひします。

代表者／安慶名 英之

**沖縄かりゆし会**

連絡先／つくし 072-874-8293

1985年6月23日結成。大東市の久米島出身者を中心に、沖縄の伝統芸能の一つであるエイサーを踊ることにより、いろいろな人達との横のつながりを大切にすることを基本とした親睦会として結成。久米島のエイサーを取り入れ、又、新しい踊りを加えながら、現在、若者を中心活動しています。

おかげ様で、20年を越える活動を行い、多くの皆様方のご協力に支えられ、頑張ることが出来ありがとうございます。これからも益々会員一同仲良く頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

代表者／柴田 浩和 地謡/吉永 安夫 小新 由香利

**平敷屋エイサー たもつ会**

連絡先／大阪(仲尾) 06-6567-4466

奈良(斎藤) 0742-27-3750

HP / <http://www.geocities.jp/heshikiya/>

私達は、数あるエイサーの中でも、うるま市勝連町平敷屋で受け継がれるエイサーにこだわっています。

結成：平成11年、本拠地：大阪市大正区平尾、構成：平敷屋エイサーを愛する会員役30名

活動内容：平敷屋エイサーを踊ることを楽しみ、そのすばらしさを伝えること。エイサー祭りへの参加は今回で8回目です。

メンバーがたもつ会に入った動機も様々で、沖縄市や勝連町で平敷屋エイサーを見た大和人が一目ぼれしたとか、沖縄料理店で飲んでいるときに誘われたとか。当初平敷屋青年会出身のリーダーが沖縄県人会の人達と始めたエイサーの会でしたが、今では、県外出身のメンバーが一番エイサーに夢中です。青年会でエイサーをする機会がなかった平敷屋出身のメンバーも参加しています。平敷屋の地元以外で出来る唯一の平敷屋エイサー同好会で、その事を自慢にしています。

代表者／仲尾 保（大阪）斎藤（奈良） 地謡／仲尾 保 新里 永徳 伊波 義雄

**愛知琉球エイサー太鼓連**

連絡先／金城 090-1862-1032

平成6年4月に新たに結成。私達、太鼓連は沖縄市登川青年会のエイサーをルーツにオリジナルの型を創り上げ、現在子供エイサーを含め十二曲の型を持っています。

沖縄の伝統芸能であるエイサーを多くの人に見て頂き、その出会いや交流を通して沖縄の文化や「なんくるないさ～」などの風土も感じてもらえばと考えています。

常に向上心を持ち、一致団結を目指し、名古屋まつりなどの様々なイベントへの参加やボランティア活動に頑張っています。

代表者／伊敷 郁也 地謡／仲宗根 昇 大嶋 章 中山 秀彦

## 東京沖縄県人会青年部 エイサー隊

連絡先／090-4096-2105  
H P ／ <http://okieiser.h.p.infoseek.co.jp>

「沖縄出身者の生活と権利を守り、会員相互の親睦・交流をはかることを目的とした団体です。活動内容は、エイサー隊及び、三線会での各種イベントへの参加、「アシバ祭」の開催・出演。それから、6・23（慰靈の日）、他沖縄に関する問題等を考える会、及び定例会を行っています。本来は、青年部の活動に会員全体が何らかの形で関わっていることが理想ですが、それを実現することは、大変難しく、体力の要ることです。

エイサー隊や、三線会に参加して、沖縄に興味を持ち、沖縄の良い所、悪い所を知ってもうきっかけになればいいと思っています。その中から、青年部の活動に、積極的に参加してくれる人が出でればいいと思っています」（青年部委員長大工廻さん談）。「東京在住の沖縄出身者の活躍の場を作るための団体とも言えます」（事務局長又吉さん談）。1979年発足。

代表者／小谷良宗 地謡／長田杉一

## 京都琉球遊ゆう会

連絡先／072-868-5383

メール／Kyoto.ryuyukai-1993@eto.eonet.ne.jp

ハイサイ・ちゅうがなびら

京都琉球遊ゆう会は、1993年京都府宇治市在住の県出身者を中心に結成。

沖縄市園田青年会エイサーの手をベースに様々な場所で交流を図り、エイサーだけでなく、サンシン等、沖縄の文化を大切にしながら京都府内を中心に活動していますので、これからも、沖縄パワー全開で頑張ります。ゆたしく、うにげーさびら!

代表者／亀島 正勝 地謡／迎里 徹 金城玲 四方 覚子

## みやくエイサー

団体としての旗揚げは2002年の12月8日です。始めはエイサー団体を作るつもりは全然ありませんでした。友人の結婚式に友達同士で余興にエイサーをやったのがきっかけです。また頼まれてもいないのに県人会の毛遊び（モアビ）に参加したり、岐阜のイベントでは、新メンバーとして沖縄に（と言うより祭り好き）興味があったメンバーも加わり、練習期間も極端に少ない状態で、何とかイベントに間に合わせました事もありました。そのイベントでは雰囲気に興奮して会場狭しとおお暴れ!!

そして、そのイベントの当日12月8日のイベント終了後の打ち上げを『みやくエイサー』の結成式としましら。その後、メンバーをコツコツ集め最初は2人で始めましたが、現在では40名を越える人数に増えました。そんな感じでとにかくコソコソ『みやくエイサー』をBIGにして行こうと頑張ってマス。今回初参加ですが、若いパワーで頑張ります。よろしくお願い致します。

## レキオ

連絡先／0797-73-3606

"レキオ"とは、ポルトガル語で"琉球"という意味です。98年9月に兵庫県宝塚市高松町にて結成。結成当時から、地元を中心に活動を行い、メンバーも地元出身者が多く活躍しています。結成以来、がじまるの会から踊りを教えてもらい、色々な舞台へ一緒に出演させてもらい、沢山の沖縄の方々・歴史・文化に触れることが出来ました。

私達の触れてきた経験、沖縄の"チムグクル"が若い世代へも受け継げられるように、エイサーと一緒に頑張っていきますので、宜しくお願いします。

代表者／桑江 瞳美

## 三線ライブ

## 天川 天秀(尼崎)

1979年沖永良部島生まれ。18歳の時に三線の音にみせられ早弾き三線、川門正彦氏に弟子入り、三年後独立する。21歳には漫才師、太平シロー氏一門に入り「KINAKO」と命名される。現在では、天秀として関西を中心に活動を続けている。

## 大城 敏信(沖縄)

沖縄県玉城村生まれ。十代の頃より三弦にほれる。彼女を追い掛けるより、三弦を弾いている方が幸せだったという。より腕をみがくべく、上原正吉氏に師事する。かくて、79年に大阪に出てくるまでは民謡酒場を経営しつつ、夜明けまで客のリクエストに応え唄いつづけるという生活をする。大阪に来てからは常に野にある人々と共に唄い励まし、がじまるの会の良き地謡を務める。唄の心を、喜びをたえず伝え続ける在野の歌人である。

(現在、月1回 京都メトロでライブをしています。)

## 新垣 優子(沖縄)

沖縄本島北部ヤンバル生まれ、育ち。1992年より10年余り大工哲弘氏に師事「ツンダラーズ」メンバーとして参加。1994年、沖縄のわらべうたや昔話などを中心とした「かりゆしゅうちゃん劇場」を立ち上げる。2001年初の県外暮らしが神戸で始まる。2004年長崎五島列島へ引っ越す。現在は「かりゆしゅうちゃん劇場」をはじめ。「風ぬ葉ライブ」と銘打ってソロ活動も開始。長崎や関西でのライブ活動をヨーンナーヨーンナーやっている。

## 大正沖縄子ども会 子ども三線会

連絡先／仲村 06-6551-6470

地域の小学校で、学校休日の毎週土曜日に活動を行う。曲は、安里屋ユンタをはじめ、花・島唄を含め、10曲以上にふえました。誰でも気軽に参加できます。

代表者／仲村 昇

## 大阪府議会議員青年部 エイサー隊

**関西沖縄文庫三線会**

連絡先／関西沖縄文庫 06-6552-6709

大阪、大正区の関西沖縄文庫に在るという恵まれた環境の中、沖縄に関するかくさんの書籍に（他にも奄美やアイヌに関する書籍もあります）触れたり、大阪のなかの沖縄について考えたり対話をしたり、沖縄の島々で長い間唄い継がれてきた唄・三線を通して常に社会や文庫を訪れる人と「癒しの沖縄」だけではない、沖縄が現実に抱える様々な事も見つめてかかわる心を持ちたいと願っている三線サークルが関西沖縄文庫三線会です。

**知念 良吉(沖縄) <ギターライブ>**

1952年、沖縄県コザ市に生まれる。沖縄の本土復帰前後にブルースの影響を受けて唄を歌い始める。LP「KOZ A75」カセットアルバム「何処へ行くオキナワンポーイの憂鬱」を発売。全国ライブツアー。1997年8月、アジアツア。2000年5月、CDアルバム「青空の生まれるところ」発売。2002年9月、アジアツア（ベトナム）「こどもの家を支える会」を支援。イベント「心の宇宙探検キャラバン」「環・和・我の輪」を定期的に開催。毎年10本・ギター1本で全国各地をツア―している。ニュースでは伝わらない沖縄の日常の喜怒哀楽を語りながらのブルース！

**栄 篤志(奄美)**

奄美の唄者（ウタシャー）として関西で活動、独特の裏声で歌い上げる奄美の唄から感じる情感は何とも言えません。また、初代がじまるの会会長の、玉城利則氏とのユニットでも沖縄と奄美の唄とユーモアで独特的雰囲気をかもし出す。本人は自分の唄は、祭の場面に会わないのでとう言はうが、こんな一面も島の文化として、紹介していきたいと思い、強く出演をお願いしました。相棒の玉城さんを元気付ける為にも、奄美の唄者の唄を皆さんに聞いてもらいます。

**ジョニー宜野湾(沖縄) <ポップライブ>**

1982年ハートビーツのギタリスト"ジョニー"としてコロンビアレコードよりデビュー。

1987年・ハートビーツの解散にともない沖縄へ帰る。

1998年・「県産品歌手ジョニー宜野湾」としてインディーズより「うりひやあでえじなとん」で再デビュー。現在テレビ・ラジオ・CM等に出演、県内外で活動中。

## 空手演舞

## 剛柔流国際空手古武道連盟大阪支部 剛柔館名嘉道場

連絡先／名嘉 携帯 090-3358-1001  
自宅 06-6552-8722

大正区で沖縄空手の道場を主宰し、少年の部(5才から12才まで)と青年の部(中学生以上)にかけて指導しています。

昨年は10月10日に大正区民ホールで、演武会を行い、盛会に終わりました。沖縄文化の中で、琉舞・民謡・エイサーを含め、空手も外せない物だと思います。大正区の地元文化として、空手を教えていきますので、皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

また、練習生(女子も歓迎)も随時募集していますので、体を鍛えたい方・ダイエットをしたい方・運動不足の方・等 何時でも歓迎致しますので、宜しくお願ひ致します。

館長／名嘉 永吉

## 沖縄から

## 名桜大学 名桜エイサー

連絡先 岸 本 090-9780-3564

名桜エイサーは今年で結成12年目を迎えました。しかしその歴史は新しく、2001年に曲目・踊りの型・衣装の全てを一新し、新しい名桜エイサーとして出発してからは6年目になります。見所は、オリジナル曲「さくら」によって入場、曲目でガラリと変わる足の運び、「花の風車」を三味線と踊りの型を変えて、2曲続けるという遊び心、手踊りの色鮮やかな衣装です。また「唐船ドーイ」では2パターンの型を踊り、三味線のスピードアップによって会場を盛り上げていきます。名桜エイサー皆一丸となって頑張りますので、ご声援よろしくお願ひします。

代表者／岸本 竜也 地謡／岸本 竜也 桜沢 昌子 今村 大貴 砂川 誉一郎 喜屋武 均 川村 健一

## 呼びかけ団体

## 関西沖縄青年の集い がじまるの会

連絡先 関西沖縄文庫 06-6552-6709

「沖縄青年は団結しよう」・「単身集団就職者の生活と権利を守ろう」・「沖縄の自然を守り、文化を発展させよう」と、3つのスローガンを掲げ、1975年1月26日に『関西沖縄青少年の集い ガジュマルの会』として発足しました。

発足以来続けてきた「エイサー祭り」は今年で32回目と成り、会の名称も昨年から『関西沖縄の集い がじまるの会』と改め、31年目の再スタートとして、芸能としての沖縄ではなく、祭としての沖縄を関西に広める為に活動をしていきます。

観て頂くお客様に祭を通して、沖縄の生活・文化・人柄・等を誤解の無い様に感じてもらえたたらと思います。今後とも、まだ紹介されていない沖縄の文化表現を、紹介していきたいと思いますので、宜しくお願ひ致します。



## エイサー

沖縄本島・周辺島嶼＜どうしょ＞の盆踊。旧暦7月15日の盆の夜、各戸でウーケイ(精霊送り)をすませたころ、それぞれの村落の神アシャギの庭に集まり、円陣舞踊を奉納し、そのあと各戸を巡回する。エイサーは、在米のエサオモロという集団舞踊に念仏形式が加わったものとみられ、はやしこばのくエイサーから来ている呼称。各地で呼称は異なるが、一般にエイサーと呼ぶ。本来は、たんなる娯楽としてではなく、村の重大な宗教行事、旧盆に欠かせない魂祭として演じられた。三味線＜サンシン＞・太鼓・踊子が行列をつくり道行きの歌をうたいながら、辻々や各戸を巡回する。必ず継親くままおや＞念仏などの念仏歌を冒頭に歌い、祖靈の供養をおこなう。そのごくスリー東くあがり＞く久高万寿主くくだかまんじゅうしゅくダンク節など、各地の民謡曲を選んで全体的構成をとっている。かつては男の場合、芭蕉くばしよう衣に藁くわらの帶と鉢巻、女は芭蕉や紺地に白の鉢巻を着ければだしで踊っていたが、最近は木綿の白い長袖シャツに白股引くもひき、脚絆くきゃはんなど、華美な服装に変わりつつある。県下に広く分布、現在中部地区が盛んで、北部、南部とづく。一般に男女混成の踊りであるが、大宜味くおおぎみ村や国頭くくみがみ村では女だけのエイサーが伝統的におこなわれ、中部嘉手納くかでなの旧村落千原くせんばるでは、男だけの勇壮なエイサーが伝承されている。沖縄の夏の風物詩ともいえるエイサーは、古い伝統に新しい要素が加味され、年々盛んになっており、全島エイサーまつり(1956、沖縄市などが主催、島嶼はコンクール形式)や青年エイサー祭り(1964年、沖青協など主催)が、毎年旧盆明けの日曜日を利用して催されている。八重山地方の盆踊はく盆アンガマと呼ばれる。

参考:真栄田義見・三隅治雄・源武雄編著『沖縄文化史辞典』(1972)、仲井幸二・丸山忍・三隅治雄編著『日本民謡辞典』(1972) 〈仲宗根幸市〉-『沖縄大百科辞典』より

## 空手

単にティーと呼ぶ。沖縄は絶海の孤島で物資が貧しく、外国貿易を営んだ。しかし平和外交をモットーとしていたとはいえ、脅威は常につきまとっていた。これに対処するため、海上では武力を備え、上陸地では武術鍛錬した心身を保持した。かくして会得したのが空手である。

沖縄の空手は、十五、六世紀の国王尚真が人民から武器を収容したために支那や南方の拳法を取り入れてできたもので、同時に棒術等も開発されていった。空手は首里手と那覇手とに大きく分けることができる。ナイハンチ、クーサンマー、チントーなどは首里手に属し、軽快で軽量型の人に適する。サンシン、ソーチンなどは那覇手に属し、莊重で重量型の人に適する。型は適當な弟子がいない場合は師匠の死とともに消えていった。明治末期から大正初期にかけて秘伝が失われた時期に、起死回生の活を与えたのが糸洲安剛である。糸洲は明治三十八年頃沖縄一中の空手師範として指導した。彼は青少年に無理のない平安の型を編みだし、従来の型も統一していった。こうして武術を本体とした型からスポーツを加味した型が派生した。これが現在親しまれる空手である。

糸洲安剛以前の型を昔手（ンカシディー）というが、いまは衰滅状態にある。かろうじて残っている喜屋武のチントー、大城のパッサイ、昔ナイハンチなどは明治以前の空手を知る貴重な存在である。

—『沖縄文化史辞典』より—

## 「張水クイチャー」への想い

宮古郡島の海の玄関口、平良市張水港の近くに、たて長のサツマイモのような岩がポツンと立っている。その140cmに満たない岩こそが、琉球王国から近代・明治時代まで続いた、悪名高い、人頭税の証そのものである。

1893年（明治26年）宮古中の農民が立ち上がり、四人の代表を、新潟出身の中村十作、那覇出身の城間正安の両氏と共に東京の国会に送り、島々の惨状と人頭税の撤廃を訴えた。

農具を武器として手に持ち、島の役人とその手下たちと睨みあった農民達は、代表団をむかえると、いくつもの輪をつくり、夜を徹して「張水のクイチャー」を歌い踊ったという。

張水港の船底の砂粒が、粟になって、米になってのぼって来たら、あがって来たら、島中の男達は、ヘラや鋤を押さなくてもいいのに…と言う風に。

本来は雨乞いの神事として踊られた「クイチャー」が、世乞い＜ユーケイ＞（世替わり）クイチャーの顔を持ったのである。

宮古郡島の人達の希望と歓喜がこめられたクイチャーは、どうぞ元気よく踊って下さい。

文・垣花義盛

# キ 空

## 夜景

あの浮浪人の寝様ときたら

まるで地球に抱きついて みるとかのやうだとおもつたら

僕の足首が痛み出した

みると、地球がぶらさがつてゐる

## 山之口

## 獫

がしゅまるの会の若い後輩達からパンフレットにのせる為の原稿を書いてほしいとの依頼があった。

なぜ、どうして、エイサーだったんですかと、さまざまな質問が発せられた。今でこそ、ここ関西でも流行語のようにここそこでエイサーと言われるようになったが、言葉のひびきには違和感を覚える、きちんと発音されていないのだ。

TVニュースでさえおかしい言い方をする。これはどこかまちがっている。日本語で国語の授業、学習を受けてきた沖縄でのあの体験は何だったのか生まれ育った土地の言葉で話して悪いこととして罰せられる。これは、ちがうだろう、まちがいだぞ！クソ！！先生に注意をされ罰として授業中に教室の外に雑巾バケツに水を入れ、両手に下げさせられて暑い日も寒い日も関係なく続けられる。

また、教室内の一番前黒板の右か左の端に立たされているクラスの皆こちらが体をもじもじさせると、クスクスと失笑するのだ。教室がざわめく、先生がチラッと立たされている生徒の方に目をやり、声と共に竹製の細いムチでビッシとやるのだ。その度に教室の張りつめていた空気が散ってザワザワして授業が中断する。異状な状況だった。学校ではこうした日常がくり返されることが続く。

地域の行事ごとのなかで展開する祭りも地域の子供として当然参加する生徒たちであるし、学校は祭りへの参加を認めないのだ。これでは地域と学校、先生と生徒との関係に何らかの影響が生じる、都心部から離れた僻地年中行事のなかの祭りは野蛮的なもので、教育的なものではないと決められ排他的扱いを受けてきた。これが、私が参加してきたエイサーをとりまく現実的背景であった。教育的なものと非教育的なものと両断に分けて行う方策が必ずしも成功するとはいえないはずだ！

教育的なものと非教育的なものが混在しているのが世の中の生活基盤だろう。

その混在のなかで集団生活するうちに善し悪しを判断し得てきたのがいま私の財産になっている。本土就職の青年達が集まって1973年、がじゅまるの会が結成されて、エイサーが発生してきたのには本土に追いつけ追い越せとの沖縄のあせった教育的指導の導入があってそのことに対するアンチテーゼが死んでなかったからだろうと考える。

e-mail: ken-uchinar@dj.pdx.ne.jp

「沖縄差別なんて、今はあるわけない」。

初めてエイサー祭りを見に来た2000年、僕はそう考えていた。

考えていたというより、そう考えさせられていたのかもしれない。

沖縄から京都に進学して3年半が経っていた。

1995年の少女暴行事件をきっかけに沖縄では反基地のうねりが起こった。

その中で高校、浪人時代を過ごした僕は京都に進学して沖縄との「温度差」に驚いた。大学の友人に、沖縄にだけ基地が集中している現状はおかしい、と言ったら「偏向している」「お前は●●党か」と批判された。沖縄で普通に培ったはずの問題意識が、感覚が通じない。

僕がただ本土の現実を知らなかっただけなのだが、

無力感に駆られ、本土に来たのだから本土の考え方、見方に自分を馴らせなくてはいけないんだ、と自分を誘導するようになった。

その結果が、冒頭の一言に現れたのだった。

エイサー祭りを見て、32年前にこの地で踊り始めた人々、踊りを見守ってきた人々の思いを訊いた。「職工募集、ただし琉球人お断り」という張り紙。

会社にパスポートを取り上げられ、学校に満足に通えず、転職もままならなかった。

生活の様々な場面で沖縄人への差別が横行する中、経営者宅に火を放って、自ら命を絶った沖縄人青年がいた。

本土社会に追いつめられていた沖縄人青年たちは、この事件に衝撃を受け、沖縄の文化に、自分自身に誇りを取り戻すために、エイサーを踊り始めた。年配の沖縄人から「恥さらし」と石を投げつけられながら。

そんな歴史を知った。それでも、エイサー祭り草創期のメンバーから「差別はなくなつたわけじゃない。見えにくくなっているだけ」と言われても、すぐには合点がいかなかった。

あれから6年。

9・11テロが起き、沖縄の米軍基地が狙われるとみるや、沖縄を訪れる観光客や修学旅行生は激減し、沖縄側が「だいじょうぶさあ～」と誘致する倒錯した状況があった。「沖縄の負担軽減」という名目とは裏腹に、本土から沖縄へ、沖縄の都市部から地方へ基地負担がのしかかっていく。そんな状況を覆い隠すかのように、引きも切らない沖縄ブーム。

一方で、「普天間飛行場を沖縄県内に移設するのは仕方ない」なんて日和っていた僕と事あるごとに議論し、大正区に案内してくれた沖縄人の友人は本土のセクトに身を投じ、大正区で会うことはなくなつた。

「差別はなくなったわけじゃない。見えにくくなっているだけ」。

6年を経て、その言葉を自分なりに実感するようになった。

迷い、右往左往する中で何となく見えてきたのは「沖縄(人)と本土(人)」という古くて新しい視点であり、「保守と革新」「国家と市民」なんて対立軸は本土側が用意した物差しであって、同じコインの裏表にすぎないのではないか、ということだ。

大正区に足を運び、エイサーを見つめる。それは、僕自身もまた「沖縄から逃げられない」沖縄人であり、その位置から物事を見つめることの大切さを確認する機会なのだ。

エイサーを見ていると、毎回、踊りたくなる。同時に、「カッコ良く見られたいから踊りたいだけじゃないのか」と自分自身をいぶかりもする。

関西に生きる沖縄人の30年にわたる営みの上に展開されるエイサーを、沖縄生まれの沖縄育ちとはいえ、自分が簡単に踊っていいものなのか?と考えた時期もあった。でも最近は、踊らなくてもいいや、と思うようになった。そのかわり、見よう、とことん近くから見てやろう、と。

近く、というのは物理的な距離だけを指すのではない。

大綱引きがあった2004年の第30回エイサー祭り。

日も暮れ、祭りがクライマックスに近づく中、車いすに乗った80歳を超えてると思われる沖縄人女性が、エイサーを見つめながら、一心に拍手を送っていた。そばで介護していた娘は「母は脳こうそくで倒れてから、片腕がほとんど動かないはずなのに」と驚いた。

翌日、役目を終えた大綱の片付けを手伝っていると、一緒に作業していた50代の草創期メンバーは感慨深く「もうこんなエイサー祭りは、僕らが生きているうちはできないだろうな」とつぶやいた。

踊る人々、それを見つめる人々の思いに想像をめぐらせる。

理解なんて簡単にはできないけれど、それでも、ギリギリまで迫ろうとしてみる。

その過程で、自分の立ち位置を、生き方を、絶えず問い合わせる。

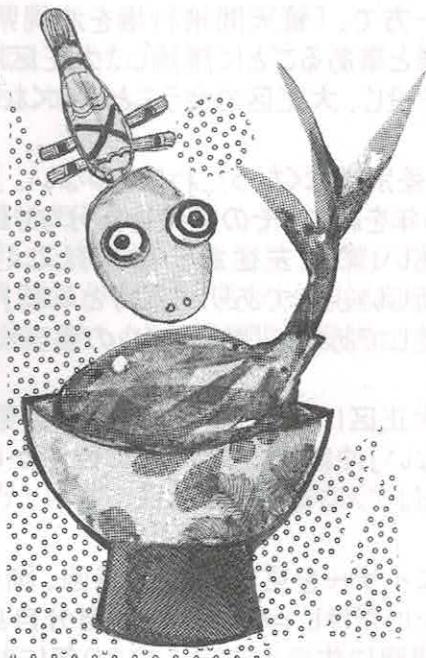
そんな意味を込めて、今年もまたエイサー祭りをとことん近くで見ていたい、と思う。

名桜エイサーの岸本です、早いもので大正のエイサー祭りへの参加も5回を数えるようになりました。初めて祭りに参加させて頂いた頃は、道に迷ったりと大変でしたが今では故郷に帰郷したような感覚を覚える程になりました。

幼少の頃から沖縄の文化に触れ、中学生に入学すると同時に地域の青年会に入り今までエイサー漬けの青春時代を送って来たわけですが、やはり時代の変化とともにエイサーと沖縄の文化が変わってきているように思えます。エイサーの型、衣装、曲、私が中学の頃から現在まででも変化があるように思えます。私の記憶では以前は曲目も少なめでゆったりとした曲調で、型もシンプルで、衣装もシンプルな感じでした。また先輩や大先輩達に当時の話を聞くと、昔のエイサーこそがエイサーだ！といった声や、今のエイサーはエイサーではない！！といった声も聞こえてきます。酒の席だともう少し聞こえてきます(笑)やはりその時代には、それぞれ違った先輩、大先輩達の青春エイサーが存在していたのでしょう。

私たちが大正のエイサー祭りに出場させて頂くようになり早5年になりますが、県外で沢山のエイサー団体や沢山の唄者さんたちがそれぞれの沖縄を表現している事に驚きました。

沖縄の人より沖縄が好き！沖縄に住んでた時より沖縄の文化に触れている！といった声も聞こえ正直、ここはどこなんだろうと不思議な感じがしました。祭りの前日、大正区の島周りをしているとここはどこ？状態がさらに続きました。演舞を見ている観客もとてもテンションが高くカチャーシーが始まると収集がつかなくなるほど盛り上がる、またみんなカチャーシーが上手い！





ふと気がつくと幼い頃の記憶がよみがえってました。

幼い頃に、旧盆になるとよく祖母や母が島周りをしている青年会を家に招き入れ、お酒や餅、ご馳走をふるまっていました、大正での出来事は幼い頃に見た光景によく似ていたのです。その時に改めてここは不思議なせかいだなあと思いました。

今では、大正区エイサー祭り、大阪遠征を通して私たちを含め後輩達にも演舞以外のエイサーというものを勉強する良い機会、また沖縄県民として人間として成長できる貴重な場として気を引き締め毎年参加させて頂いております。これからも、どんな苦難にも負けずよりよい沖縄を目指した大先輩たちを見習い、誇れる郷土の文化を守りつつ人として大きく成長していくため頑張っていきたいと思います！

最後になりましたが、私達に大変素晴らしい機会を与えて下さった大正区の皆様、実行委員の皆様、また、地元沖縄や各地で応援して下さってる皆様には心より感謝しております。

この場を借りて厚く御礼申し上げます。これからも名桜エイサーを宜しくお願ひいたします。

ありがとうございました！！

宮古島に帰省すると必ず訪れる場所がある。ポスターで有名な東平安名崎である。

小学校の頃、遠足で行き一番好きな場所になった。崖から眺める海には青や黄色、色とりどりの熱帯魚が飛び跳ねていた。こんなにも美しいところがあるのかと感動した。いつか一人で行ってみたいと思っていたが、果たせないまま本土就職で島を出た。

東平安名崎は帰省するごとに様相を変えていた。岬周辺は整備され遊歩道ができ、崖から眺めた海には熱帯魚の姿はなかったが、観光名所になっていた。

駐車場のところには観光人力車が登場していた。観光人力車は本土の人がやっており、三線もうまいとの評判だった。その景色にあわない人力車に違和感と、そのうちこの島は乗っ取られるのではないかという危機感と怒りを覚えた。

人の島に土足で入らないで言いたかったが、勇気がなくて言えなかつた。  
島にいる人達はどう思っているのだろう。

同級生に聞いてみた。東平安名崎に人力車、変だと思わない？

同級生は言った「変さ～～。」どうして変だと思っているのに何も言わないの？（自分も言えなかつたが…）

「人がやっていることだからさ～～テレビでもやっていたさ～珍しいから。」  
テレビは好意的に取り上げたようだ。

「この島は誰が守るのだろう」といってみたが、みんな沈黙した。

新聞に投稿しようと思ったが、宮古島に進出してきてている企業も同じなのではないか、人力車だけの事を言ったのでは個人攻撃になってしまうと思い投稿できなかつたが、あの違和感と怒りは私の中から消えることはなかつた。

宮古島出身者に会うとつい聞いてしまう。

「あの人力車、他人の島に土足で入ってきてていると思わない」

「他人の島に土足でって…」そんな言い方はないでしょうといった表情だった。そんな言い方をしてもわかってもらえる相手だと思っていた。私の心が狭いから過激な表現になってしまふのかと落ち込みながら、言い方を変えて聞いてみた。

「あの景色にはあわないよね。」「確かに…あの景色にはあわない。」と相手は言った。景色にあわないということは、宮古島にない文化をもちこんでいるからであって、それを土足ではいってきていると言つて何が悪いのだろうか。

ある新聞の観光週間企画で「宮古観光 支えます！」「観光人力車を引く」という記事の中で自らを「宮古島の大ファン」と称する熱い男だ「いまのままの宮古島でいいと思う。宮古島のよさは口コミで広がり続ける。僕も力は小さいけど、多くの観光客と接し、口コミの部分で宮古島の観光に貢献したい」とある。

今では有名になった人力車、確かに宮古島の観光には貢献しているかもしれないが、本当の宮古島を伝えることができているのだろうか。宮古島の大ファンと称するならば、その景色にあわない宮古島の人が違和感を抱くような、島にない文化を持ち込まないでほしい。

大和の人ぬきしどうかってぬくとをつすかみやーくをのうしがないすがら…

(日本人がきて好きなことをすると宮古はどうなるのだろう)

東平安名崎に今年中に宮古馬を走らせる話があると聞いた。今度、帰省する時には宮古馬が颯爽と東平安名崎を走っていることを期待したい。

いきちかあ いき すま ぬ なり ん なり  
(行ったら 行った島 の 習慣 に 慣れよ)

いったらその島の習慣になれるように心得よ。人間誰しもその住む地域社会の風俗習慣に馴染むようにすべきで、それが世渡りの道でもあろう。社会のしきたり習慣というものは古くから伝承されたもので尊重すべきである。 — 以下省略 —

吉村 玄得 宮古ことわざ全集より

バーチュイムニー  
いつも見守られていた  
いつも見つめられていた  
我した島ウチナーの先人たちに  
我した島ウチナーの生きもののたちに  
我いた島ウチナーに  
はなれてはじめて出てくる  
ウチナーヘのういり  
はなれてはじめて見えてくる  
ウチナーの姿  
はなれてはじめて見えてくる  
自分の姿  
はなれてはじめてわかる?  
ウチナーハウムはせ?先ハイタチ  
いちまでいん月子に染みて  
島の外音

新垣伊彌



2004.10  
S

本文 子供の頃、ぼくらは「お盆(旧盆)」が来るのがなによりも楽しみだった。お盆前の数日前から、トートーメー(仏壇)にはパインやバナナやウージ(砂糖きび)のほか、餅や三枚肉などのお供え物が置かれていることに、なんともいえない幸福感を覚えたものだった。

夏休みになれば、昼間は炎天下を走り回り、大きなガジュマルの木の枝にキチを作つて遊んだ。遊び疲れたころ、夕焼けに包まれながら帰宅したぼくらにはもうひとつの楽しみがあった。それは、夕食後に公民館(地域によっては区民館ともいう)で行われる青年会のエイサー練習を見ることだった。夕飯はあつという間に平らげ、シャワーはやはりカラスの行水。太鼓やサンシンの音の聞こえるほうへと急いだ。額に汗してパワフルに踊る姉や兄たちの姿に大きな憧れを抱いていた。ウンケー「お迎え=盆の初日」の前日には全員本番の衣装を着て練習していた。

特に、島ぞうりを履き、おそろいの紺地の絣に紫のハチマキをした手踊りのお姉さんたちの笑顔には子供心にも、何ともいえないお色気を感じていた。

大人も子供もウンケーからウークイ「お送り=盆の最終日」までの三日間はまさに解放された時間の中にいた。真夜中にエイサーが回つて来るのを待ちきれずいつしか寝入ってしまったものです。やがて、サンシンや太鼓の音が夢の中で体中に響き渡り、床板やタタミの下から伝わってくる音はまるで母親の胎内で聞いた心臓の鼓動のようだった。

思えば、米軍基地もこの世に生を受けた時からそこにあった。だがエイサーと米軍基地は大違いだ。住民が完全に寝入っている未明にもかかわらず我がもの顔で離発着する軍用機の爆音は乳飲み子をたたき起こす悪魔の音である。

もともと浄土宗の僧侶が始めた念佛踊りが起源だとされるエイサーも約500年もの歴史があるという。エイサーはご先祖様の靈を供養する行事であると同時に観るものと踊り手、すべての人の心に計り知れない解放感と幸福感をもたらしてくれる沖縄の宝物だ。

先日、かねてから観たいと思っていた富山の「おわら風の盆」の踊りと岐阜の「郡上踊り」を観る機会を得た。やはり素晴らしいものだった。とはいっても大勢の観光客がおしかける本番の日じゃなく、あえてその準備期間に出かけて行った。そこにはその土地にしっかりと根付いた伝統と歴史の重みがあった。特にその盆踊りの歴史を思うと、とてもじゃないが一踊る阿呆に観る阿呆～(徳島の阿波踊りを非難する意味ではなく)一と「踊る阿呆になろう」などとはおこがましくて思えなかつた。

来月、「世界のうちなあんちゅ大会」が催される。30年以上も異郷でエイサーを踊り続けてきたニューヨークの友人がやってくる。また彼女より先に日系エンジニアとして来沖している普天間出身で空手マンの友人は「大太鼓買ったよ、今から血が騒ぐさー」と張り切っている。やはり、エイサーにはうちなあんちゅのイノチが宿っているといえよう。

日本の各地にはその地域で守りとおした素晴らしい伝統芸能があり、敬意を払わざにはいられない。今や商業ベースに乗つて観光化し消費されゆくエイサーを憂い、本来の沖縄エイサーが世界中に正しく継承されていることをせつに願いたいものです。

喪のある風景

うしろを振りむくと

親である

親のうしろがその親である

その親のそのまたうしろがまたその親の親であるといふやうに

親の親の親ばかりが

むかしの奥へとつづいてゐる

まへを見ると

まへは子である

子のまへはその子である

その子のそのまたまへはそのまた子の子であるといふやうに

子の子の子の子の子ばかりが

空の彼方へ消えいるやうに

未来の涯へとつづいてゐる

こんな景色のなかに

神のバトンが落ちてゐる

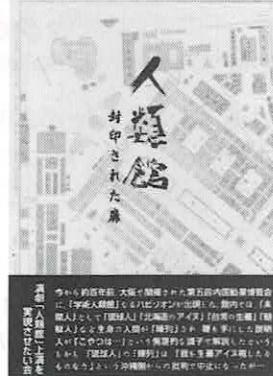
血に染まつた地球が落ちてゐる。

## 「人類館事件」とは

# 人類館

## 封印された扉

絵画館「人類館」上演を実現せしめたい会



扉を開け

### 第一扉●第五回国博覧会と人類館事件

うえちみわ・野村浩也・金城勇・長谷川由希・呂順長・二宮一郎

### 第二扉●場所の記憶に耳をます

城田愛・松田京子・平井正治・都裕史・諸見里芳美・仲間恵子

### 第三扉●ぬーがぬーやらぬーんわからん 沖縄の虚像と実像

高嶺剛・知念ウシ・佐渡山豊

### 第四扉●演劇「人類館」大阪公演

知念正真・森口詔・新城郁夫・佐渡山豊

### 第五扉●展示された側の叫び 過去から未来へ

知念ウシ・しまぶくうナヘ芳美・野村浩也・宮城歓・長谷川由希・林和雄・金城正樹

### 隠し扉●資料編

当時の新聞記事

人類館（沖縄－大阪）関連年表

### 扉の向こうに

■最寄りの書店かインターネットでご注文ください  
<http://www.atworx.co.jp/works/pub/jinruikan.html>

### A5判ソフトカバー・456頁

定価 2,310円(本体2,200円+税)  
ISBN4-939042-11-1 C0036 ¥2200E

今から約百年前、大阪で開催された第五回国博覧会に、「学術人類館」なるパビリオングが出現した。館内では、「未開人」として琉球人「北海道のアイヌ」「台灣の生蕃」（朝鮮人）「生蕃」（朝鮮人）が、日本人「生蕃」（アイヌ）が、その生蕃として扱われた。その「未開人」は、日本人「未開人」（琉球人）と並んで、日本人「未開人」（アイヌ）も、その「未開人」（アイヌ）として扱われた。しかし、この「未開人」（アイヌ）は、日本人「未開人」（アイヌ）として扱われた。

た説明人が「いやつは…」とうつ悔穢的な調子で解説したといふ。しかし、「琉球人」の「陳列」は、「我を生蕃」（アイヌ視したるものなり）といふ沖縄側からの批判で中止になったが…

【人類館 封印された扉】は、人類館事件百年目の100周年、関西の沖縄人たちが演劇「人類館」大阪公演実現に向けて検証することで真相が明らかになる一方、人々の心に浮かぶ沖縄の虚構など「人類館事件」から現在の沖縄に提起する問題が浮かびあがつた。沖縄を見るヤマトの視線との視線に応えよといふ沖縄の虚構など「人類館事件」と沖縄の姿を考える上でやっちゃんチコ、そしやマーチンチコに問いかける必読の書！

## なぐせー・労災巡り

毎日新聞大阪本社労災隠れ取材班

A5判 ● 100円 ISBN4-939042-09-X

<http://www.atworx.co.jp/works/pub/nosai.html>

甲子園巡礼 高校野球の夢・愛・哀

● 四六判 ● 100円 ISBN4-939042-10-3

<http://www.atworx.co.jp/works/pub/koshien.html>

バーンサバイバイ時代の労災の便り  
● 四六判 ● 100円 ISBN4-939042-14-6

<http://www.atworx.co.jp/works/pub/baansaiy.html>

バーンサバイバイ時代の便り  
● 四六判 ● 100円 ISBN4-939042-16-2

<http://www.atworx.co.jp/works/pub/baansaiy.html>

告発！逮捕劇の深層 生ひ小企業運動の新たな挑戦

● A5判 ● 100円 ISBN4-939042-17-0

<http://www.atworx.co.jp/works/pub/baansaiy.html>

神戸新開地 幸福の界隈 たのむかごとく

● A5判 ● 2000円 ISBN4-939042-17-0

<http://www.atworx.co.jp/works/pub/kotukuso.html>

労災職業病闘争小史

● A5判 ● 1800円 ISBN4-939042-18-9

<http://www.atworx.co.jp/works/pub/roshikutsu.html>

規制緩和民営化によって大企業に莫大な利益がもたらされる一方で、サービス残業や長時間労働などによる心の病過労自殺高次脳機能障害などの健康破壊が進む実態に注目し、地域組んだ労働者専門家学生たちの闘いの歴史。

部落差別の現実の中で取り組んだ識字学級、滞日外国人との相談活動などにほんじ教室を開設を通して、生きるために文字を奪い返して「もがき」を勝ち取っていく人たちとの出会い生き様を継る半生記と外国人の作文集。

養父 第旭区立ほんじ教室

A5判 ● 100円 ISBN4-939042-07-3

<http://www.atworx.co.jp/works/pub/kotobah.html>

<http://www.atworx.co.jp/works/>  
E-MAIL:info@atworx.co.jp



めんそ～れ 今帰仁産  
沖縄料理・山羊料理

# あんず

嘉数俊成

〒551-0031 大阪市大正区泉尾5-2-1  
☎ 06-6552-3900



沖縄料理 郷土料理

# ちゅらさん

代表 乾 京美 (旧姓 下地)

〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-24-18 TEL 06-6925-1187

営業時間(火)～(土)PM 6:00～AM 5:00 (日)PM 6:00～AM 1:00 定休日 月曜日

沖 縄 料 理

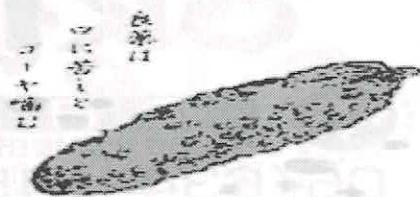
# うすばれ 豊年

〒551-0002

大阪市大正区三軒家東1-4-11

Tel 06-6553-0781

PM 17:00～AM 12:00 定休日 / (日)



沖縄料理

# いっちゃん

金城 義光

〒551-0012 大阪市大正区平尾3-11-9

TEL 06-6554-3295 定休日 / 木曜日



沖縄・奄美 郷土料理の店

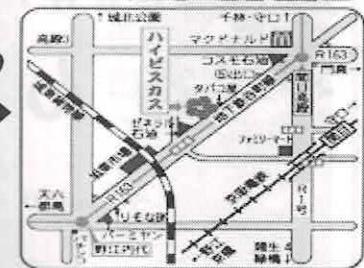
# ライフ居酒屋ハイビスカス

代表 牧 健二

〒535-0031 大阪市旭区高殿4-4-21

将棋ビル1F TEL06-4254-5253

営業 PM6:00~AM1:00時 / 定休日 月曜



沖縄料理、泡盛はもちろん、世界中の料理、蒸留酒が楽しめます。（約1000種）

# Little Bar CORAL BAY

大阪市東住吉区東田辺1-16-18 タカサキビル2F（大阪ガス2F）

TEL 06-4399-1173

営業時間19:00~27:00



# ●沖縄の家庭料理と手作り豆腐の店● レストラン OKINAWA



## 梅田店

大阪市北区梅田1-1-3

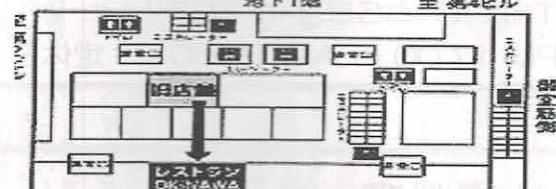
06(6344)4567

◆営業時間 ランチ 月~金11:30~14:00

[ご予約] 夜月~土 17:00~23:00  
(ラストオーダー 22:30)

◆定休日 日・祝日

大阪駅前第3ビル地下1階63号



## なんばCITY店

大阪市中央区難波5-1-60

06(6644)2678

◆営業時間 ランチ 11:30~14:00

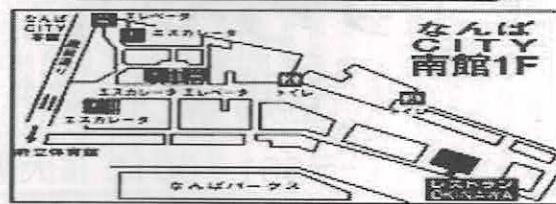
夜 17:00~23:00

◆年中無休 (ラストオーダー 22:00)

ご予約承ります

なんばCITY南館1階4122

なんば  
CITY  
南館1F



居酒屋

# 正起屋

季節料理・沖縄料理・地酒・焼酎

池原 正也

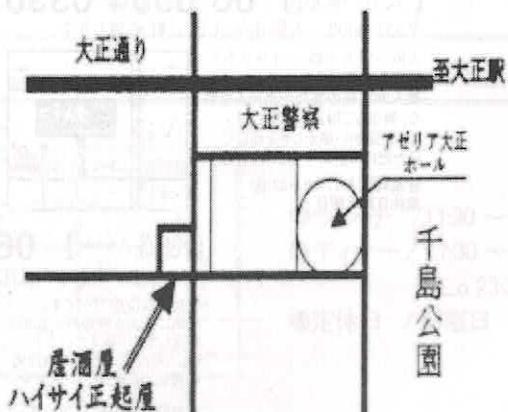
〒551-0011

大阪市大正区小林東3丁目6番20号

TEL 06-6553-9819

営業時間 / PM 4:00~11:00

定休日 / 月曜日



琉球酒房

めぐらや

大阪市大正区三軒家東1丁目10-20

Tel. 06-6553-1955

営業時間 PM5:00~PM12:00

ラストオーダーPM11:00

定休日 水曜日

沖縄居酒屋

めぐらやー

大阪市中央区難波1丁目7-17

浪花びるB1F 大阪松竹座南側

Tel. 06-6211-5208

営業時間 PM5:00~PM12:00

ラストオーダーPM11:00

定休日 火曜日

H18.10/2(月) OPEN!!

沖縄美食酒房 ちゃんぷる一家

大阪市北区梅田1-12-39 新阪急ビルB2F

琉球泡盛と沖縄料理



長い歴史と伝統の中で育まれてきた

おいしい琉球料理を

香り豊かな銘酒泡盛と共に…

心ゆくまで沖縄の味をご堪能ください。

【大正本店】 06-6554-0330

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東1-8-7

大阪のリトル沖縄、大正区にある歴史ある本店です。最大36名様の宴会が出来る座敷や、個室もご用意しております。どこか温かい、懐かしさを感じていただける空間です。

営業時間▶17:00～23:00  
定休日▶火曜日



【梅田店】 06-6363-0208

〒530-0057 大阪市北区曾根崎2-16-22 アメリカンビル7F

扉を開けるとそこには、伝統的で独特的な文化が作り出す沖縄の世界が広がっています。お仕事の疲れを癒してくれる安息の場をご提供しています。

営業時間▶月～土/17:00～23:00  
11・祝/17:00～0:00  
定休日▶月曜日



【泡盛バー】 06-6449-1485

〒550-0002 大阪市西区江戸堀3-6-34 横井第6ビル1F

本格的な泡盛バーです。沖縄に4社ある酒造所の銘酒を厳選して取り揃えています。もちろん泡盛にピッタリの沖縄料理もご用意致しております。

営業時間▶月～土/17:00～2:00  
11・祝/17:00～0:00  
定休日▶不定休



沖縄料理に沖縄Music、ウチナーTimeで楽しく飲んで

OKINAWAN STYLE DINING BAR.

Sanshin cafe.

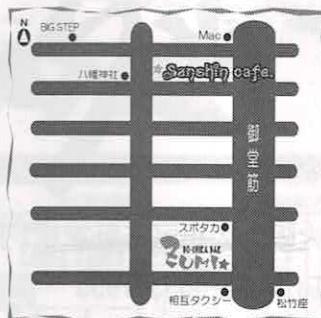


本店 ☆ Sanshin cafe. アメ村店

〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋2-1-18NORI' BLDS 1F

TEL/FAX 06-6212-9272

OPEN 7days a week. 17:00p.m. ~



ボーチラBar ズミッ！道頓堀店

〒542-0071 大阪市中央区道頓堀2-1-1フルーツタワービル10F

OPEN 7days a week. 20:00p.m. ~ 7:00a.m. ラストオーダー！

※宮古島の方言で「ボーチラ」は「ヤンチャな」

「ズミッ」は「最高・かっこいい！」です。

スミ！びきどぅんにア巴拉ギ！みどぅん。  
だいすっ！ずみっ！な「サンシンカフェ」と  
「ボーチラbar スミ」で泡盛片手に飲んで、唄って、朝まで楽しもうね。  
三線や二胡、ジャンルを問わずさまざまなライフの予定あり！  
沖縄民謡、沖縄レゲエにHIP HOP、ハワイアンに60' 70' の様々な音楽、  
リクエストも大丈夫！今なくても次には聞ける！音楽と泡盛を満喫してね。

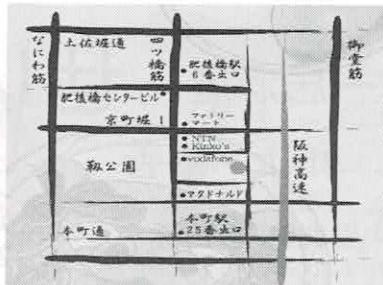
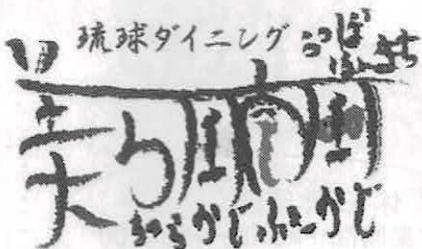
沖縄料理

# はいさい

代表 伊佐 光&多恵

- ◎沖縄民謡保存会 関西支部
- ◎琉球舞踊 玉城流 糸和会
- ◎はいさい歌舞団

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東1-4-9  
TEL 06-6555-9807 / Fax 0729-82-7858  
営業時間：17時～24時まで 定休日：月曜日



〒551-0004 大阪市西区靱本町1-7-3 PAX本町ビル1F tel.06-6459-1635 fax.06-6459-1636

うりすん R

沖縄料理

〒545-0002  
大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-8  
TEL06(6623)6677

沖縄料理

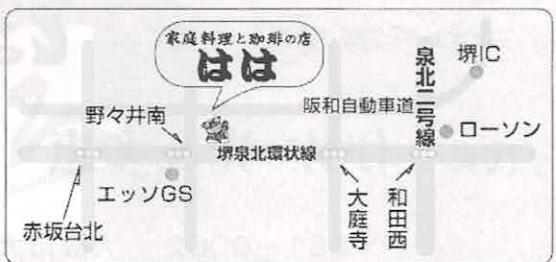
# でいご

大阪市平野区加美北3-7-25 TEL06-6796-5577



## 沖縄家庭料理と珈琲の店

は は

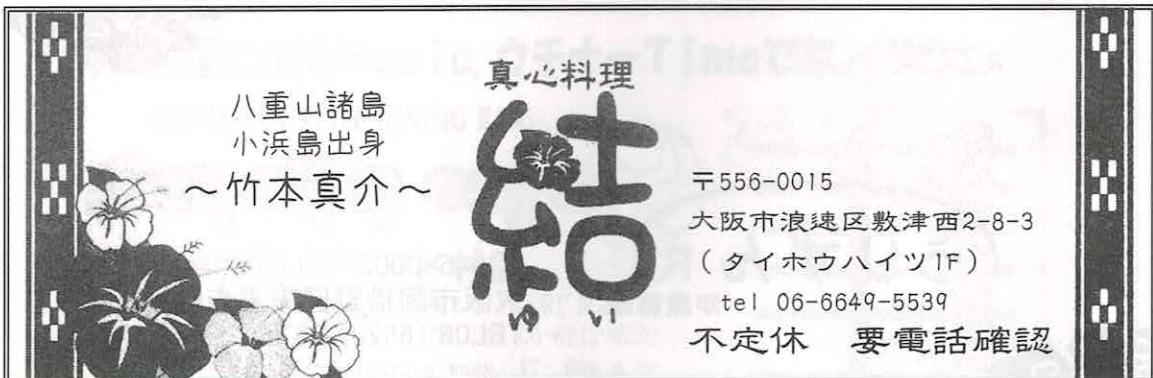


〒590-0155 堺市野々井 69-1 TEL/FAX 072-292-8841

# ファミリー居酒屋 せいだいや 川上 勝善

伊丹市中野北3丁目7-27  
TEL : 0727-85-5211

定休日:水曜日  
営業時間:PM5:00~PM11:00



沖縄料理と島唄の店

アーティスト

大阪市大正区南恩加島4-5-22

06-6552-6781

営業時間：18:00～23:00

定休日：火曜日



## 沖縄料理 泡盛

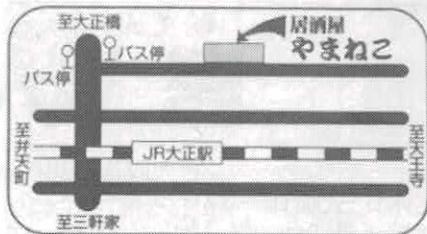
# 居酒屋 やまねこ

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東1-4-6

電話・FAX (06) 6555-3607

定休日：月曜日

〈沖縄料理・オリオンビール・泡盛・その他一品〉  
団体・グループ様座敷ご座居ます。



## 沖縄料理・山羊料理



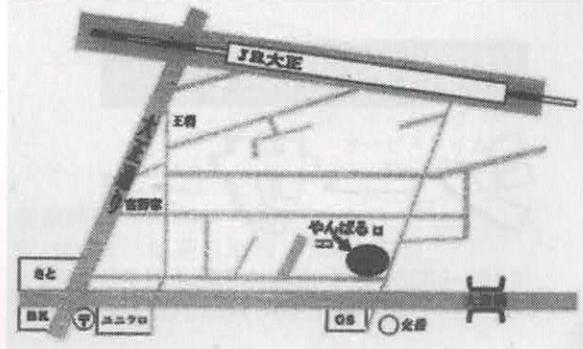
# 運天優子

〒551-0002

大阪市大正区三軒家東1-14-7

中善大正ハイツ1F

TEL 06-6554-5635 月曜定休日



## 沖縄料理

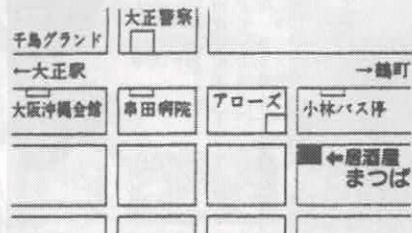
# 居酒屋 まつば

親川 光則

〒551-0013 大阪市大正区小林西1-4-19

TEL (06) 6553-8916

営業時間: 午後5時～11時 定休日: 日曜日



琉球海鮮  
特選泡盛



日本酒 日本茶

〒542-0085

大阪市中央区心斎橋筋2-1-3

TEL: 06-6213-9554

沖繩家庭料理

# 島人

大阪市淀川区西宮原3丁目3番87号  
定休日:火曜日 仲晃マンション1階  
営業時間:PM6時~12時 TEL 06-6399-6450

\*\*\* 阪急三国

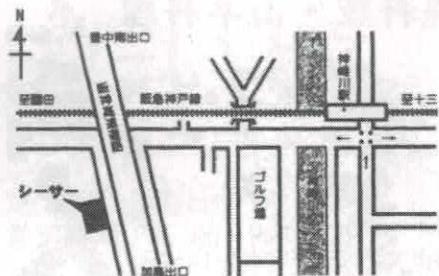
蟲人

新大阪 ..... 地下鉄東三国

沖繩料理專門店

# シーサー

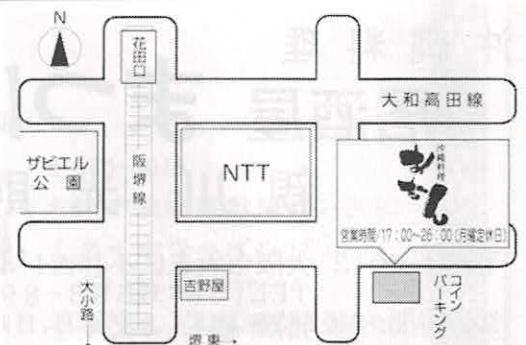
〒561-0835 豊中市庄本町2丁目7-18  
TEL(06)6332-3313



水曜日定休



〒590-0945  
堺市戎之町東1丁2-15  
TEL(072)22227016  
携帯090-372229606



# 沖縄料理 居酒屋 かりゆし

定休日:木曜日

登川流研究保存会関西支部  
宮里政則民謡研究所  
玉城流光乃会大阪支部  
宮里政子琉舞道場

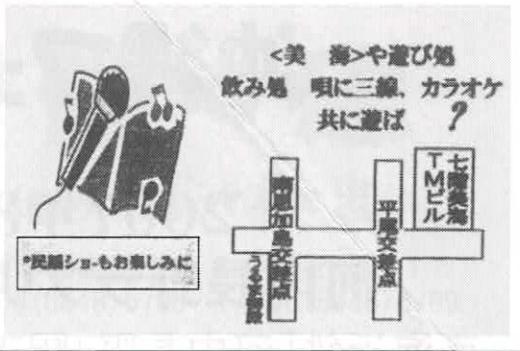
毎週土曜日  
民謡ショーあり

大阪市大正区三軒家東1-14-18  
TEL/FAX 06-6554-5576

うみ 海

大阪市大正区南恩加島5丁目1-4 T.Mビル8階  
TEL. 06-6553-8521

新里 米



香り高い挽きたての豆で  
サイフォンコーヒーをどうぞ・・・

café ピアス

選べる  
モーニングメニュー  
6種

モーニング  
サービスタイム  
7:00~12:00

営業時間 7:00~19:00

定休日 每週月曜日・第4火曜日

大阪市大正区平尾2丁目23-17平尾コ一ホ1F

TEL 06-6555-0347

TEL 06-6555-0347

Digitized by srujanika@gmail.com

For more information about the study, please contact Dr. Michael J. Hwang at (310) 206-6500 or via email at [mhwang@ucla.edu](mailto:mhwang@ucla.edu).

# お好み焼 てんご

〒530-0043  
大阪市北区天満二丁目十三の十  
電話.06-6881-5134  
営業時間:夕方5時半~夜12時(日・祝定休)

[View all posts by admin](#) | [View all posts in category](#)

堺・焼酎乙の会加盟店  
**焼酎・泡盛居酒屋**

# 笑樂

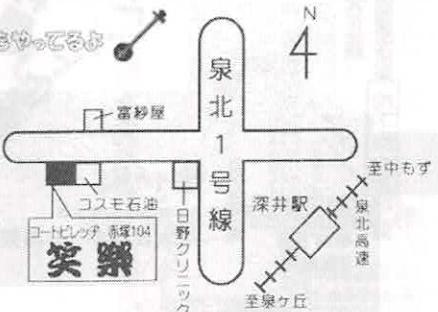


吉野アーツギャラリー

〒599-8273 堺市中央区深井清水町3537

コードビレッジ赤塚104

TEL (072)277-5963 ☆営業時間 PM6:00～AM2:00 ☆休日 日曜日、月～土曜日



# 沖縄フェスティバル

in 河内長野

2007年3月25日(日)

河内長野ラブリーホール(大ホール)

南海近鉄「河内長野」駅下車、徒歩7分/ 入場料2000円

//////// 出演予定団体 (敬称略、50音順) //////////

《沖縄から》 安里 勇、後富底 周二、大城 美佐子

川門 正彦、具志堅 新徳、具志堅 京子

《関西在住》 伊禮 正哲、大城 敏信、

幡 俊弥、宮里 政則、

《エイサー》 沖縄かりゆし会

関西沖縄の集い がじまるの会

お問い合わせ 090-1589-5003(島津)/090-8750-6939(安里)

## いちゃりばの営業品目

さーたーあんだぎー・発酵ウコン茶

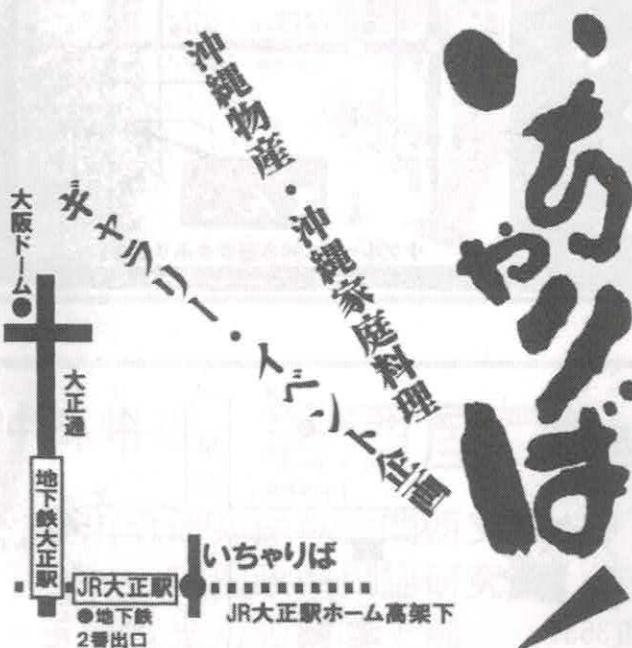
健康食品類・黒糖菓子・ポーク缶詰

生鮮野菜・魚肉等沖縄食材料

紅型・琉球ガラス・陶器等

沖縄民工芸品・三線・CD・ビデオ・カセット

レンタルギャラリー・イベント企画 その他



代表 平安山 美恵子

## 沖縄物産いちゃりば

〒551-0002

大阪市大正区三軒家東1-9-12

TEL/FAX 06(6552)7868

沖縄三線の店

有限  
会社 佐々忠

大阪三線クラブ 佐々木 忠

営業 9:00~20:00  
定休日 毎週月曜日

大阪市福島区玉川4-12-11  
TEL06(6448)6708 FAX06(6448)6709



障害者と健常者が共に働く店

手づくり無添加パン ポッポ

代表者 : 森本 秀治

メール : poppo@e-sora.net

住所 : 大阪市西成区長橋2-5-11

電話 : 06-6561-9372 FAX: 06-6561-9373

営業時間 : AM9:00~PM5:00 定休日 : 金曜日

ホームページ : <http://www.e-sora.net/poppo/>

社会福祉法人 ピースクラブ

作業時間/10:00~17:00 〒556-0014 大阪市浪速区大国1-11-1

Tel./Fax.: **06-6647-2077**

メールアドレス : [peaceclub@s2.dion.ne.jp](mailto:peaceclub@s2.dion.ne.jp)



喫茶 キジヒナ

営業時間

月~木 9:00~19:00

金 9:00~23:00

土 9:00~14:00



Tel./Fax.

**06-6646-0358**

喫茶 にゅううえいぶ

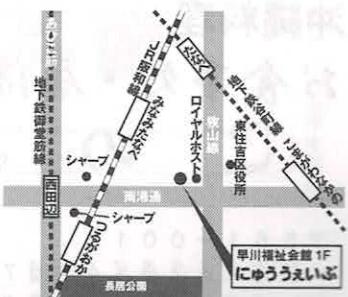
営業時間 / 午前9:00~午後6:00

定休日 / 土・日曜日・祝日

〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺1-9-28

早川福祉会館(ピア大阪)1F

**06-6624-6119**



沖縄そば製造販売  
田舎料理専門店

## マルトミ食堂

小橋川 幸子

〒551-0012 大阪市大正区平尾5丁目2番13号  
TEL 06-6553-0274  
(毎週火曜日定休)

マルトミ ■

添屋 ● パチンコ  
● 平尾会館

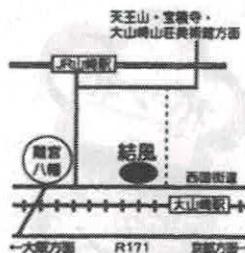
平尾バス停  
大正通り

GS



## 沖縄陶器とティールーム

島の光と風を感じながら  
無農薬のお茶でひとときを。  
ホームパーティやコンサート  
などにもご利用いただけます。



営業時間 11:00~18:00  
定休日 水曜日

京都府乙訓郡大山崎町大山崎龍光53-1  
TEL 075-957-0201

JR山崎駅・阪急大山崎駅より  
西国街道沿いに徒歩3分

## 沖縄料理 ミツル

おいしさ・優しさ  
心うるおう

家庭料理の  
お店です



サービス  
色々あります

福島区吉野3-1-40 (バブ ミツル2F)

TEL 06-6466-6033

営業時間 17:00 ~ 24:00

携帯 090-8482-4416



●JR野田駅改札口を左に出て右手すぐ ●地下鉄玉川駅4号出口右に出ですぐ

## 沖縄料理

# お食事処・居酒屋 このみ

〒551-0012

大阪市大正区平尾4丁目7番8号  
TEL 06-6552-5558

↑至大正駅  
大正大通り  
↓至鶴町

シェル石油

このみ

平尾公園

交番

●平尾バス停

パチンコ

沖縄会館

おかげさまで  
祝 10周年  
ありがとうございます

沖縄料理と島唄の店

# うるま御殿

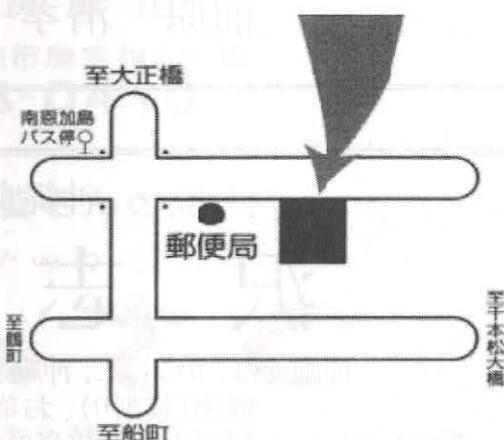


店主

川上 清満

今後とも宜しくお願ひ致します

〒551-0021  
大阪市大正区南恩加島2-7-27  
コーポナカムラ1F  
TEL (06) 6555-8111  
定休日 月曜日



沖縄特産品がいっぱい、沖縄の味覚が楽しめます。

## 沖縄物産の店

# ペビーの

〒551-0012

大阪市大正区泉尾2丁目16番16号

<レスポワールビル>

TEL 06(6552)5225

水曜日定休日



## 青果物 …… 沖縄物産取扱い…地方発送承ります。

# フレッシュフード 藤本

〒551-0012 大阪市大正区平尾3-23-10 TEL 06(6551)7939 FAX 06(6551)8747

沖縄そば・八重山そば製造、卸、小売  
沖縄名産食品・直送販売店

# 前原食品

前原 清孝

定休日：日曜日

兵庫県伊丹市西野5-174  
TEL:072-782-8893

～～ 沖縄食品の店 ～～

# 沢志商店

沖縄そば、かまぼこ、沖縄豆腐、麩、昆布、ポーク、黒糖  
鰹節(賃削り)、お菓子、ウコン茶、その他

〒551-0012 大阪市大正区平尾3-15-19(サンクス平尾 東アーケード内)  
TEL.FAX(06)6552-6121 月曜日定休

沖縄料理・島唄ライブ

# 仲頃

ちゅんじゅん

TEL 06-6554-4652

営業時間 午後5:00~12:00

大阪市大正区平尾4-8-5

仲  
店長

田  
栄  
子



柳清本流 柳清会  
上間照美琉球舞踊道場

師範 上間 照美

〒551-0012 大阪市大正区平尾3丁目17番地6号

TEL (06) 6551-9530

FAX (06) 6554-8091

堺教室 堺市賤町4丁1-5-215

〒590-0066 TEL (0722) 23-9270



八重山古典民謡保存会

# 宮良康正研究所

師範 宮良康正

〒901-2127 浦添市屋富祖2-6-16

☎(098) 878-0410

気軽に語られる皆さんの店!!

民謡スナック

# ていんさぐ

〒900-0015 那覇市久茂地2-14-18

☎(098) 868-3217

玉城流 光乃会 大阪支部

# 中村寿美子琉舞道場

師範 中村 寿美子

稽古場 大阪市大正区千島3-19-3

〒551-0003 大阪沖縄連合会館(3F)

携帯 090-4565-5566

自宅 大阪市大正区小林東3-21-19

〒551-0011 TEL 06-6551-5888



生徒随時募集中



玉城流・光乃会 大阪支部

# 仲村幸子 琉舞道場

師匠 仲村 幸子 後援会会长 仲村 隆男

/// お知らせ ///

今年の10月29日(日)大阪厚生年金会館芸術ホールに於きまして  
《秋節に～麗しぬ舞い》と題し仲村幸子琉舞道場第二回発表会を  
開催致します。何卒ご来場賜りますよう宜しくお願ひ致します。

自宅 〒551-0031 大阪市大正区泉尾5-18-22

稽古場 〒551-0003 大阪市大正区千島3-19-3

(大阪沖縄連合会館 2F)

TEL 06-6551-3784 / 携帯 090-1445-3858

玉城流 隆扇会

# 上野順子琉球舞踊研究所

師範 上野順子 教師 宮里博美 福田美枝子

神戸支部：神戸市長田区若松町3-3-10 教師 福田美枝子

堺支部：堺市諫訪ノ森町西「岡本宅」 教師 宮里博美

〒551-0012 大阪市大正区平尾3-17-19 TEL・FAX 06-6554-5261

製鋼原料・非鉄金属全般

末宏商店

上地末宏

〒551-0011 大阪市大正区小林東3丁目2-8

TEL・FAX 06-6554-1460

冠船流

川田綾子琉球舞踊教室

〒551-0011 大阪市大正区小林東3-2-8

TEL・FAX 06-6554-1460



# 仲宗根精肉店

〒551-0012

大阪市大正区平尾3丁目23-5

TEL (06)6554-1529

沖縄食材・食品なら何でもそろう!!

業務用沖縄食品・食材卸



# 金城商店

営業時間 10:00~19:00 毎週月曜定休日



< <http://www.kinjyo-store.jp> >

- 沖縄食品館 -

# ちゃんぶる

新鮮直送!

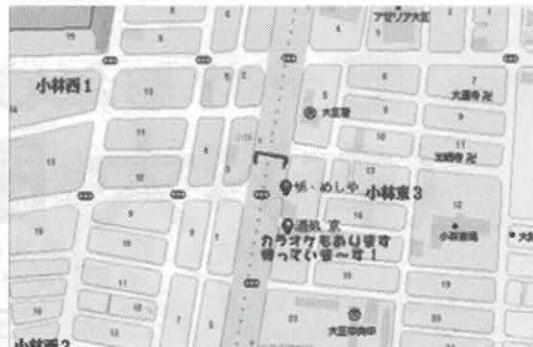
金城商店直営小売店

問合せ Tel/Fax 06-6552-8419 〒551-0033 大阪市大正区北恩加島1-12-17

酒処 京

有光 ケイコ  
KEIKO ARIMITU

551-0011  
大阪市大正区小林東3-16-17  
TEL 06-6394-1133



沖縄そば

沖縄料理

西平製麺所(彦そば)

あじさい(小売店)

西平信彦

大正区北村1-8-14

大正区北恩加島1-9-2

TEL: 6553-0992

TEL: 6553-7975

一日の疲れを癒す、友人との談笑の場！

 銭湯 萬歳湯

(営)15:00~23:00(休)毎週土曜日  
大阪市大正区平尾3-12-10  
市バス平尾バス停下車東へ約400m  
(平尾小学校南東)



10/20 (金) 開場 6:30 / 開演 7:00  
前売 ¥3000

～琉球休歌～

ミヤギマモル  
ライブツアー

11/2 (木) 開場 6:00 / 開演 7:00  
前売 ¥4000

那良伊千鳥

11/3 (金) 開場 6:00 / 開演 7:00  
前売 ¥2000

～西垣竹三研究所

八重山古典民謡ライブ～  
出演 西垣竹三、久保田晃平、東輝文  
石倉美津子、比嘉真優子、藤原真紀

Power LIVE

Banana Hall

イベント・出演者 募集中

TEL 06 (6361) 6821

530-0027

大阪市北区堂山町16-3



沖縄酒菜

島バナナ

各種団体グループ・宴会のご予約  
御予約承っております。

バナナホール1F TEL 06 (6361) 2425

総合大卸・小売

# (有) 大田和楽器

蛇皮・人工皮  
三線・三線附属品  
工工四(古典・民謡)  
琴・太鼓・舞踊小道具

大田 永太郎

那霸店 〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋1-5-6  
電話 098-866-4417  
FAX 098-863-6702

店舗兼住宅 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客2-17-9  
電話 098-877-3684



キャンペーン  
実施中  
詳しくは下記  
ホームページにて

普通科 二輪科

二輪専用コース

(AT・MT)

(AT・MT小型から大型まで)

年中無休、日・祝日検定実施、夜9時まで営業

大阪府公安委員会指定

オリックス市岡ドライビングスクール

0120-571-477 <http://www.orix-ids.com>

大阪市港区磯路3-9-15 弁天町駅より西へ約800m スクールバス運行

# 大正沖縄子どもエイサー団 大正沖縄子どもサンシン会

エイサー やサンシンで、沖縄を表現して楽しんでいます。

## 団員募集中

幼児から小中学生とその親御さんまで、  
親子でいっしょに太鼓を打ち鳴らして、  
エイサーを学んでみませんか。



### サンシン

毎週土曜日 午前10:00～ 每月第1・第3土曜日 午前11:30～  
練習場所：平尾小学校 多目的室

〒551-0012  
大阪市大正区平尾4丁目9番12号

TEL06-6552-8313(金城宗和)  
TEL06-6551-6470(仲村 昇)

ALC金物取付  
鳶 鍛冶・鉄工溶接  
**有限会社 水 和**  
代表取締役  
名 嘉 永 吉

**剛柔流国際空手古武道連盟**  
**大阪支部 剛柔館**  
**名嘉道場 黒帯会**

館長 名嘉永吉

TEL : 06-6552-8722

〒551-0012  
大阪市大正区平尾3丁目6番8号  
TEL・FAX06-6552-8722  
携帯電話090-3358-1001





**西垣竹三研究所**

●日時 2006年

**11月3日(金)**

開場/午後6時 開演/午後7時

●場所

大阪 バナナホール  
(電話 06-6361-6821)

●料金

前売 2,500円 当日 3,000円  
(別途1ドリンク代として500円が必要です。)

※チケットは、バナナホール、  
びあ、ローソンで取り扱っています。

※お電話・メールでの予約受付もおこなっています。

○西垣竹三研究所

090-6864-9509

○ライブ予約のメールアドレス

nishigakitakezo.osaka@hotmail.co.jp

●友情出演

東 民雄、内原美智子、恩川 嶺子  
(近畿八重山郷友会)

■後 援

沖縄県大阪事務所  
近畿八重山郷友会  
近畿川平郷友会



**八重山民謡ライブ**

●日時 2006年

**11月4日(土)**

開場/午後5時半 開演/午後6時半

●場所

「58月(ゴヤムーン)」  
(電話 052-834-3358)

●料金

2,500円(予約制)  
(別途1ドリンク代が必要です。  
泡盛300円 ビール500円)

※お申し込みは下記までお願いします。

○久保田(西垣竹三研究所)

メール:kubochiyo724@ezweb.ne.jp  
携帯:090-6865-1431

○ライブ予約のメールアドレス  
nishigakitakezo.nagoya@hotmail.co.jp

■後 援

沖縄県大阪事務所  
名古屋駐在所  
(旧:沖縄県名古屋情報センター)

主催:西垣竹三研究所(<http://www12.plala.or.jp/TAKESAN/>)

球美なる島の美らなる銘酒

本場 泡盛

久米島の久米仙。

燶久米島の久米仙

コク味深く、うまさ際立つ。

**オリオンビール**

代理店

**(株) 沖一酒販**

TEL (06) 6555-1980

販売店

**丸宗 (株)**

TEL (06) 6532-0531

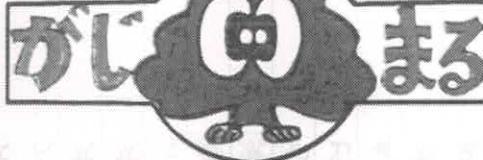


沖縄家庭料理  
肉料理の店



沖縄そば

琉球泡盛



東大阪市長田1-2-21 電話 06(6782)0209



**株式会社 ユニワールド印刷センター**

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲1-6-4 TEL.06-6450-0111 FAX.06-6450-0333

ヤマトとウチナーの交わるところーかじまやー

**関 西 沖 縄 文 庫**

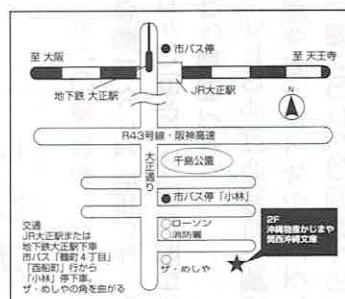
- ・沖縄関係図書（約6千冊）の貸出
- ・島唄ライブ（定員約70人）
- ・三線会（毎週水曜午後7～9時。参加費500円）
- ・講演会、文化企画
- ・太鼓、パーランクー、三線などの貸出

**沖縄物産販売 かじまや**

- ・今注目の“粟国之塩”関西地区代理店
- ・三線、四つ竹、サンバ、しめ太鼓、パーランクー、シーサー（各種）、その他民芸品、沖縄物産販売
- ・沖縄関係の本、CD各種

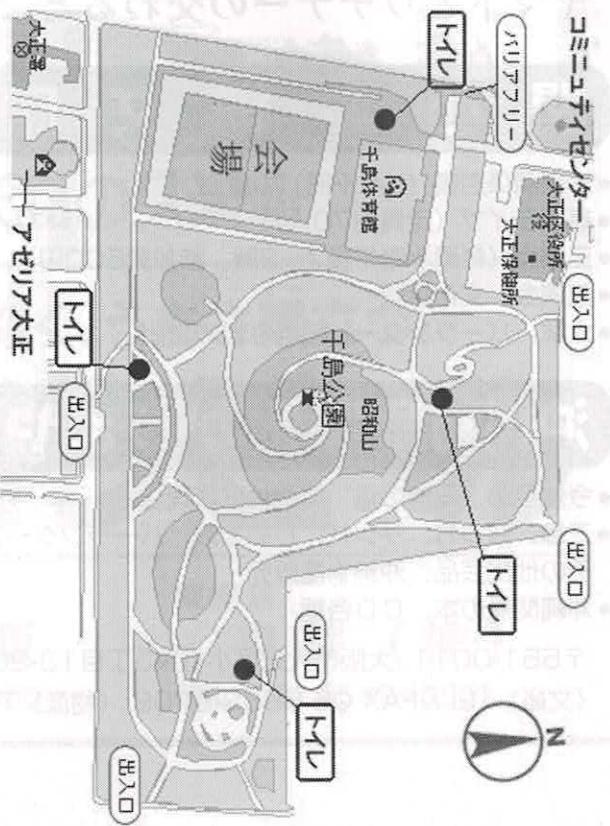
〒551-0011 大阪市大正区小林東3丁目13-20

《文庫》TEL&FAX 06-6552-6709 《物産》TEL 06-6551-9283



# バザーヤードーム

## 会場周辺図



ご協力下さい！

- ① 未来 沖縄そば・サーティアンダーキー・いか汁・とん足・島らっきょ
- ② あーちゃん 沖縄そば・ヒラヤーキ・ホーク玉子・ビール
- ③ うるま御殿 沖縄そば・焼きそば・ヒラヤー・アソダーキー・かき氷・飲料等
- ④ でいご 焼きそば・チキン・ミガー・ビール・ストラップ
- ⑤ いちやりば てびちそば・タラバ・かき氷・スカト・ラフバーガー・サーティアンダーキー他・飲料
- ⑥ やんばる 沖縄そば・焼きそば・もずく天・ホークオニキリ・
- ⑦ キジムナー フーチバージューシー・サーティアンダーキー・ビール・泡盛・飲料
- ⑧ ペピーの 沖縄そば・ホルモン焼き・たこ焼き・かき氷・ビール・飲料
- ⑨ 興市 沖縄物産(飲料含む)
- ⑩ がじまる ハイナップル・枝まめ・ビール・飲料
- ⑪ 残波の会 焼肉・ラフテー・フランクフルト・飲料
- ⑫ 仲順 沖縄そば・沖縄天ぷら・ホーク玉子・ゴーヤーチャンプル飲料
- ⑬ かりゆし もずく天・ゴーヤーチャンブル・沖縄焼きそば・飲料
- ⑭ 大阪堂 ヒラヤー・チー・ケーブイリチー・ビール
- ⑮ あんず ホルモン焼き・ビール・飲料
- ⑯ かじまや 沖縄焼そば・ヒラヤー・チー・ポチギ・ビール・泡盛・飲料
- ⑰ 関西沖縄文庫 本・CD・工芸品・その他
- ⑱ 大正沖縄子ども会 焼きそば・ホーク玉子・かき氷・ポーポー・ビール・飲料
- ⑲ つくしあがじまるの会 もずく天・鳥唐揚げ・紅芋コロッケ・ビール・飲料

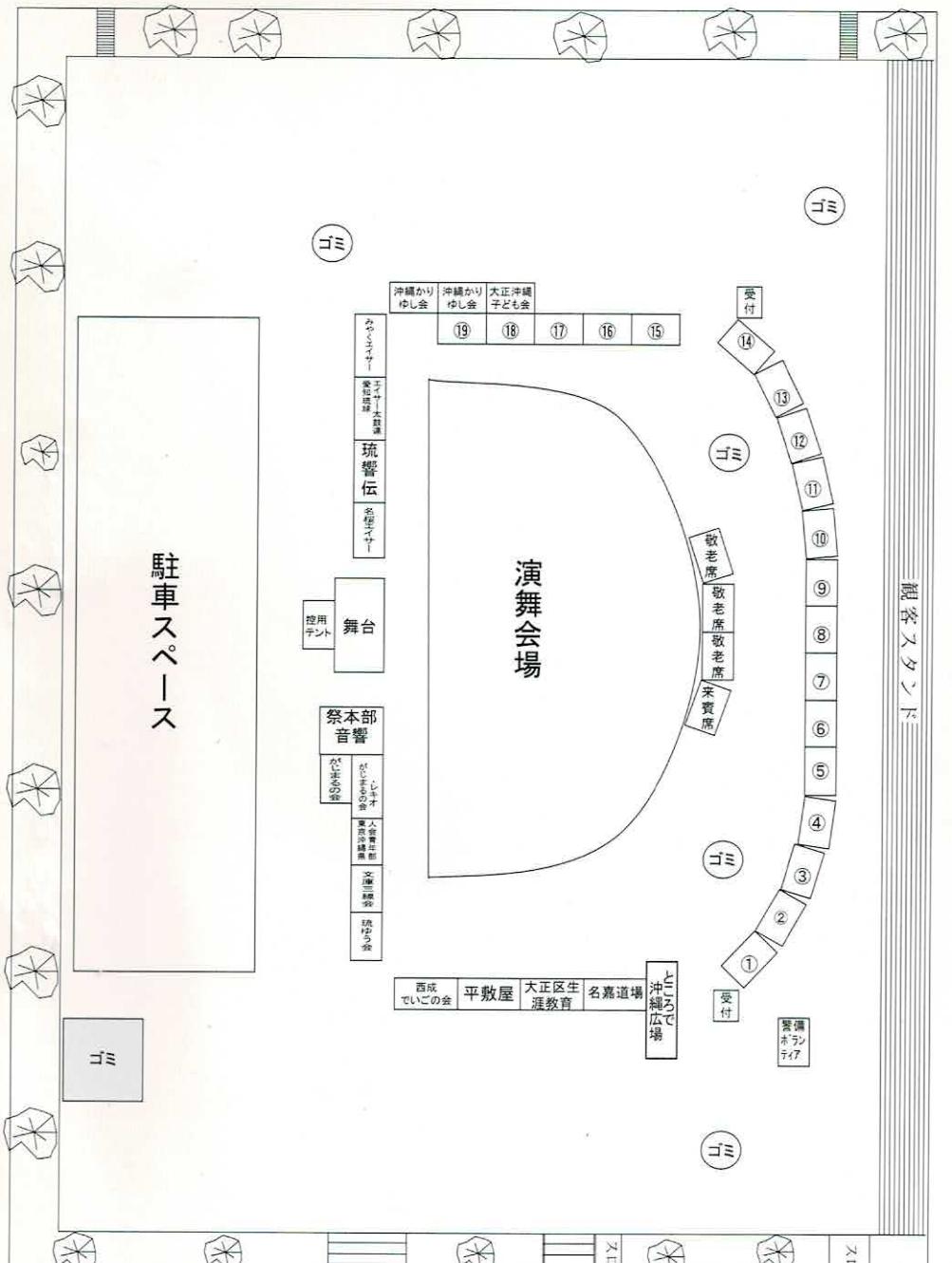
毎年、多くの参加者、見学者の増加に伴いゴミの出かたも大変な量になってきました。運営はボランティアでやってますがゴミの回収、分別に翌日まで毎年かかっています。大変な労力と費用です。

プログラムの合間合間に「清ら祭りでーびる」(清掃タイム)の時間が有りますからそこで、皆さんにご協力とお願ひですが身の周りのゴミの回収と分別を心がけて頂きますよう宜しくお願い致します。

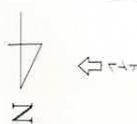
エイサー祭りは環境に優しい運営を目指しています。

# エイサー祭り会場図

大正千島公園グランド



体育館



N

会場入口

S

E

W

会場入口

## 第一回沖縄青年の祭り

エイサー、クイチャー、マミドー、カチャーン



- 沖縄青少年は団結しよう
- 沖縄青少年の生活と権利を守ろう
- 沖縄の自然を守り、文化を発展させよう

とき 1975年9月14日(土)

午後1:00~5:00

ところ 大正区 千島グラウンド

(JR大正駅北駅舎前バス下車)

主催 関西沖縄青少年の集い「がじゅまるの会」

後援 大阪沖縄県事務所・大阪市・青い海

琉球新報大阪支社・沖縄タイムス関西支社

1975年9月14日はパーランクの音が本土で初めて  
鳴り響いた日だった。

夏の暑さは過ぎようとしていたが  
日ざしはあるで沖縄のように  
まぶしく感じられた。

---

発行日 2006年9月17日  
編集発行 がじまるの会・関西沖縄文庫

価格 100円

---